

3 . 精神障害者の状況

(1) 基本的な属性

性別、年齢

あなたの性別と年齢をお答えください。

対象者の性別は、男性が 73.9%、女性が 21.7%である

「30-39 歳」が 46.4%を占めており、平均年齢は 38.0 歳である。

	N	男性	女性	無回答
TOTAL	69	73.9	21.7	4.3

	N	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50 歳以上	無回答	平均
TOTAL	69	14.5	46.4	17.4	14.5	7.2	38.0 歳

暮らしている場所

現在、あなたはどこで暮らしていますか。(は1つ)

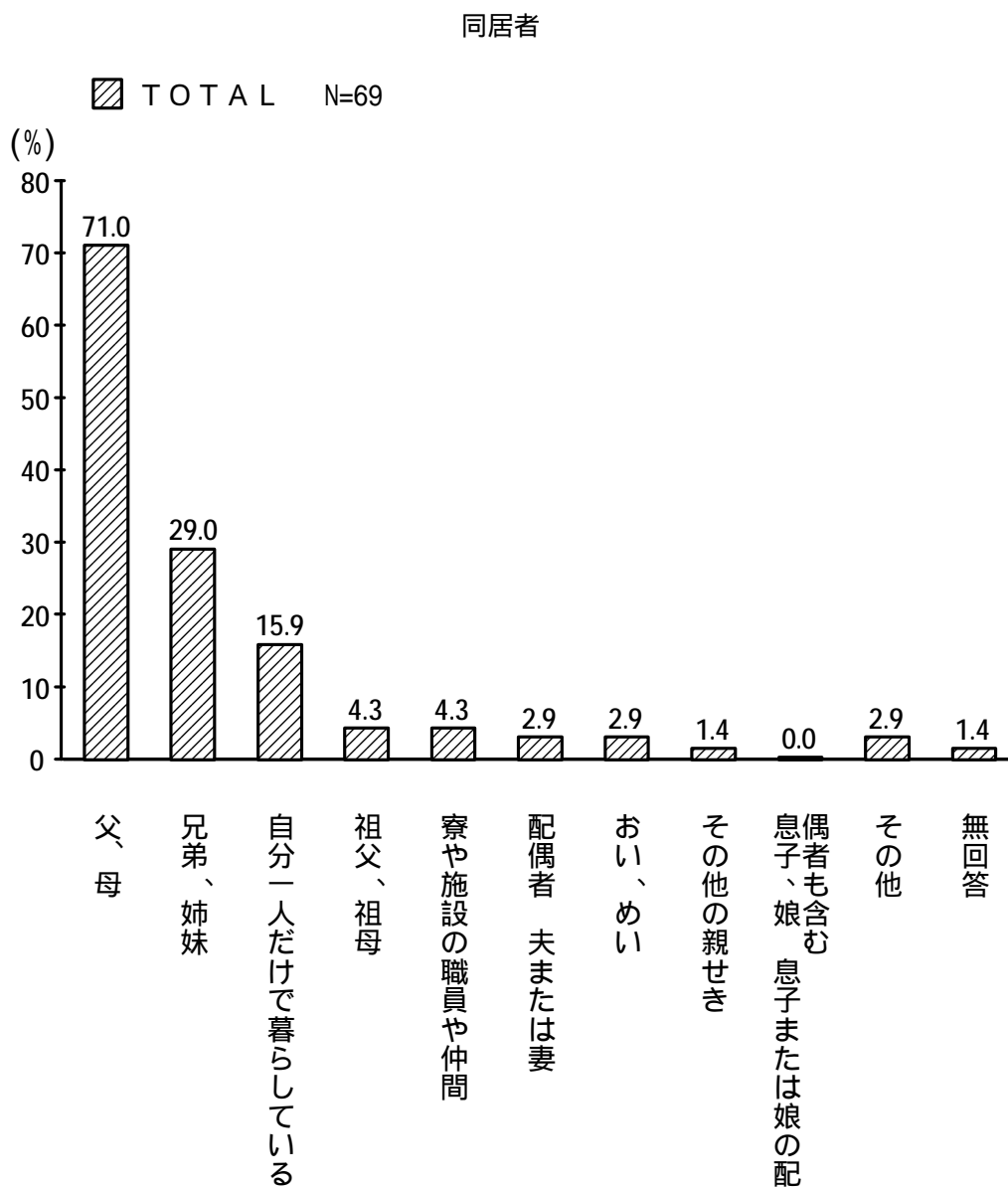
現在「自宅で暮らしている」人が 88.4%を占める。

	N	自宅で暮らしている	病院に入院している	福祉施設に入所している
TOTAL	69	88.4	7.2	4.3

同居者

現在、あなたと暮らしている人はどなたですか。(はいくつでも)

一緒に暮らしている人は、「父、母」が71.0%と最も多く、次いで「兄弟、姉妹」が29.0%で続いている。なお、「一人暮らし」は15.9%である。



精神障害者保健福祉手帳の取得状況及び取得意向

あなたは「精神障害者保健福祉手帳」をお持ちですか。(は1つ)

あなたは今後、精神障害者保健福祉手帳を取得したいと思っておりますか。(は1つ)

現在、精神障害者保健福祉手帳を「持っている」人は55.1%である。

精神障害者保健福祉手帳を持っている37人の障害程度の内訳は、「1級」9人(24.3%)、「2級」24人(64.9%)、「3級」4人(10.8%)となっている。

現在、精神障害者保健福祉手帳を持っていない30人のうちの6人(20.0%)は、今後の手帳取得に関して、「取得したい、あるいは既に申請中である」と回答している。

	N	持っている	持っていない	無回答
TOTAL	69	55.1	43.5	1.4

↓

	N	1級	2級	3級
TOTAL	37	24.3	64.9	10.8

↓

	N	取得したい、あるいは既に申請中である	取得する考えはない	わからない	無回答
TOTAL	30	20.0	26.7	50.0	3.3

(2) 日常生活について

日常生活動作における介助・援助の必要性

あなたは家の中(入所施設を含みます)で、次の(1)～(6)のような生活動作をするときに、どれくらい手助けが必要ですか。

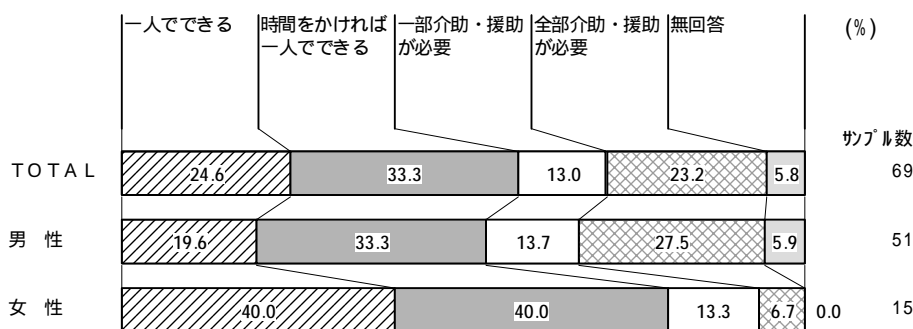
日常生活における「部屋の整理・整頓」「衣類の洗濯」「日用品などの買い物」「食事のしたく」「服薬」「金銭の管理」の6つの動作のうち、最も介助・援助を必要とするのは、「食事のしたく」で、全体の23.2%の人が「全部介助・援助が必要」と回答している。

性別にみると、食事における介助・援助の必要性が特に高いのは男性で、約4割(41.2%)が「食事のしたく」において何らかの介助・援助を必要としている(「全部介助・援助が必要」27.5%、「一部介助・援助が必要」13.7%)状況がうかがえる。

日常生活動作における介助・援助の必要性 (全体 N=69)

	一人で行える	時間をかければ一人で行える	一部介助・援助が必要	全部介助・援助が必要	無回答
部屋の整理・整頓	42.0	33.3	18.8	2.9	2.9
衣類の洗濯	43.5	31.9	11.6	5.8	7.2
日用品などの買い物	53.6	18.8	17.4	2.9	7.2
食事のしたく	24.6	33.3	13.0	23.2	5.8
服薬	81.2	5.8	10.1	-	2.9
金銭の管理	53.6	17.4	15.9	10.1	2.9

食事のしたくにおける介助・援助の必要性(性別)



主な介助・援助者

ふだん、あなたを主に援助・介助しているのはどなたですか。(は1つ)

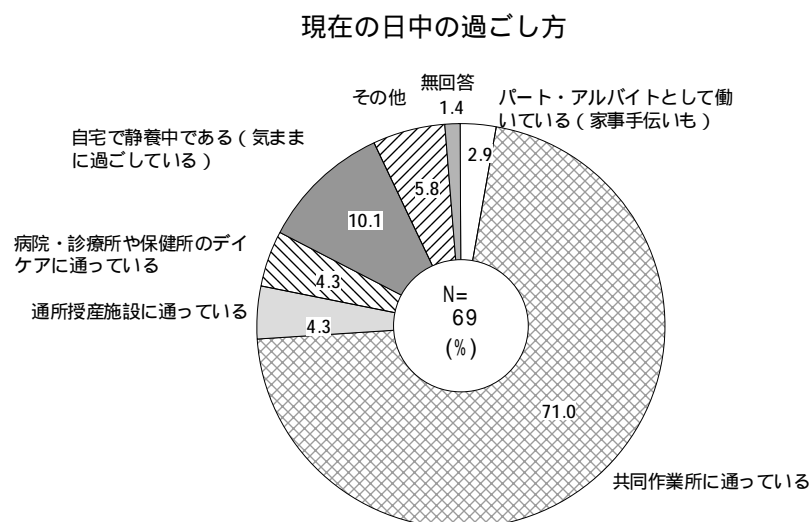
21.7%は「特に介助・援助は受けていない」と回答しているが、主な介助・援助者としては「父、母」をあげる人が55.1%と最も多い。

特に介助・援助は受けていない	夫妻	父、母	兄弟、姉妹	祖父、祖母	病院の職員(看護婦等)	施設の職員	市社会福祉協議会職員	その他	無回答
21.7	1.4	55.1	2.9	1.4	7.2	4.3	1.4	1.4	2.9

日中の過ごし方(現状と希望)

あなたは、平日の昼間、主にどこで(何を)して過ごしていますか。(は1つ)

日中の過ごし方をみると、約7割(71.0%)が「共同作業所に通っている」状況である。

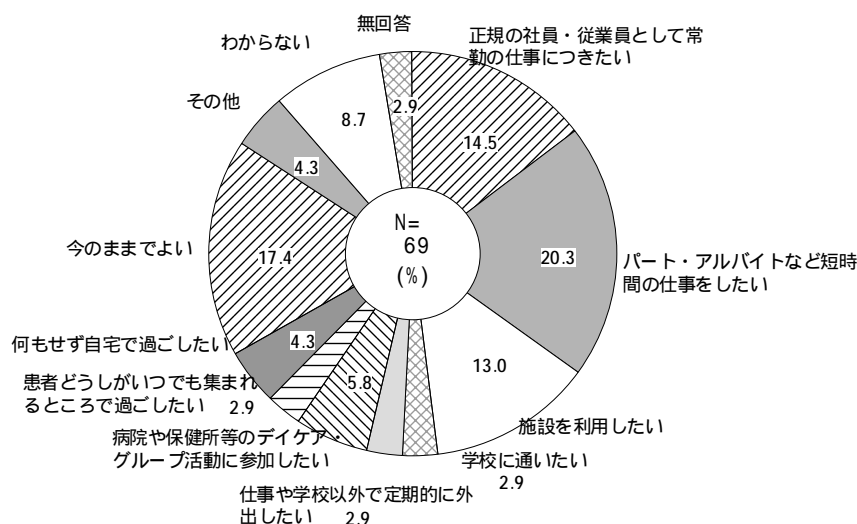


あなたは、今後、日中をどのように過ごしたいですか。(は1つ)

今後、希望する日中の過ごし方としては、「パート・アルバイトなど短時間の仕事をしたい」と考えている人が 20.3%と最も多く、次いで「今のままでよい」(17.4%)、「正規の職員・従業員として常勤の仕事につきたい」(14.5%)、「施設を利用したい」(13.0%)と続いている。

現在の日中の過ごし方とあわせてみると、共同作業所に通っている人の 26.5%は「パート・アルバイトなど短時間の仕事をしたい」と回答しており、「正規の職員・従業員として常勤の仕事につきたい」(14.3%)をあわせると、約4割は仕事をしたいと考えていることがうかがえる。

今後、希望する日中の過ごし方



今後、希望する日中の過ごし方 (現在、共同作業所に通っている人のみ)

	N	パート・アルバイトなど短時間の仕事をしたい	今のままでよい	正規の職員・従業員として常勤の仕事につきたい	施設を利用したい
共同作業所に通っている	49	26.5	22.4	14.3	10.2

回答が1割未満の項目は省略

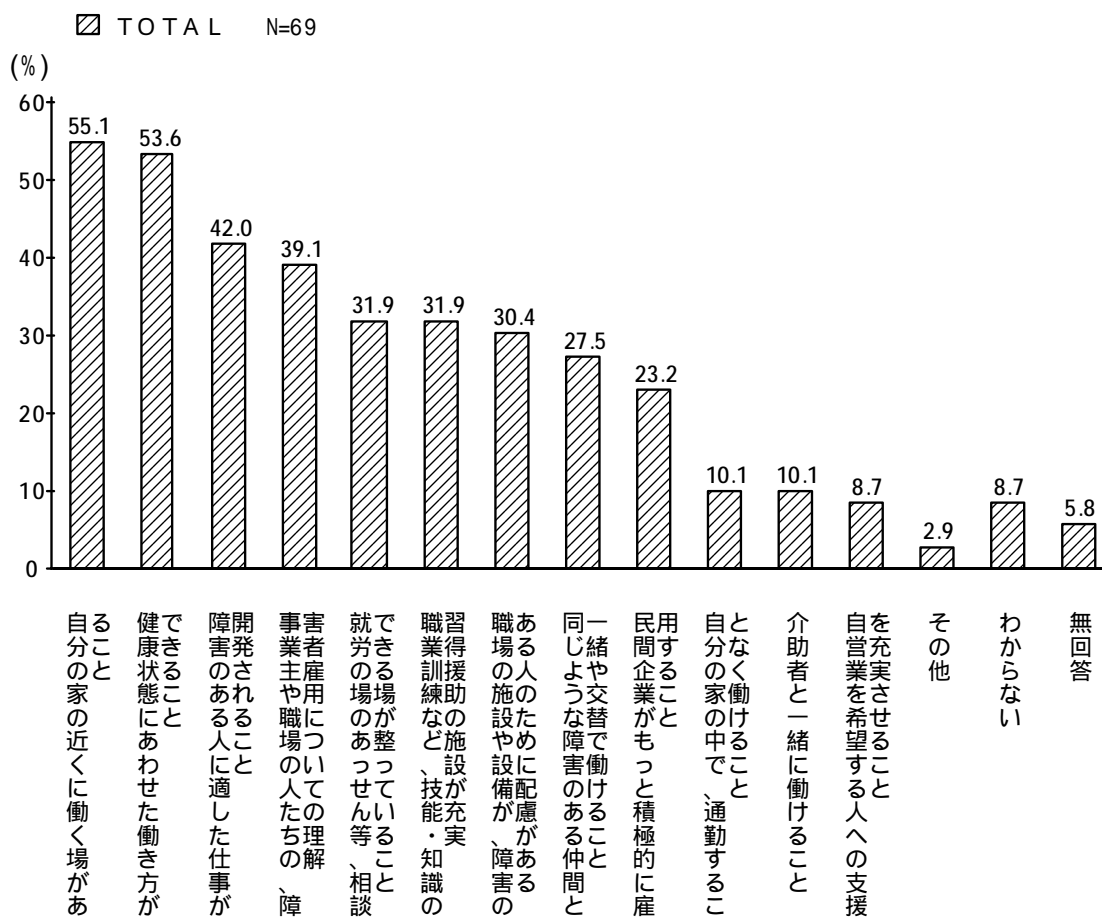
(3) 就労について

働くために大切な環境整備

あなたは、障害のある方が働くためにはどのような環境が整っていることが大切だと思いますか。あてはまるものすべてに をつけてください。(はいいくつでも)

障害者が働くために大切な環境整備としては、「自分の家の近くに働く場があること」をあげる人が55.1%と最も多く、次いで「健康状態にあわせた働き方ができること」(53.6%)、「障害のある人に適した仕事が開発されること」(42.0%)、「事業主や職場の人たちが、障害者雇用について十分理解していること」(39.1%)と続いている。

働くために大切な環境整備



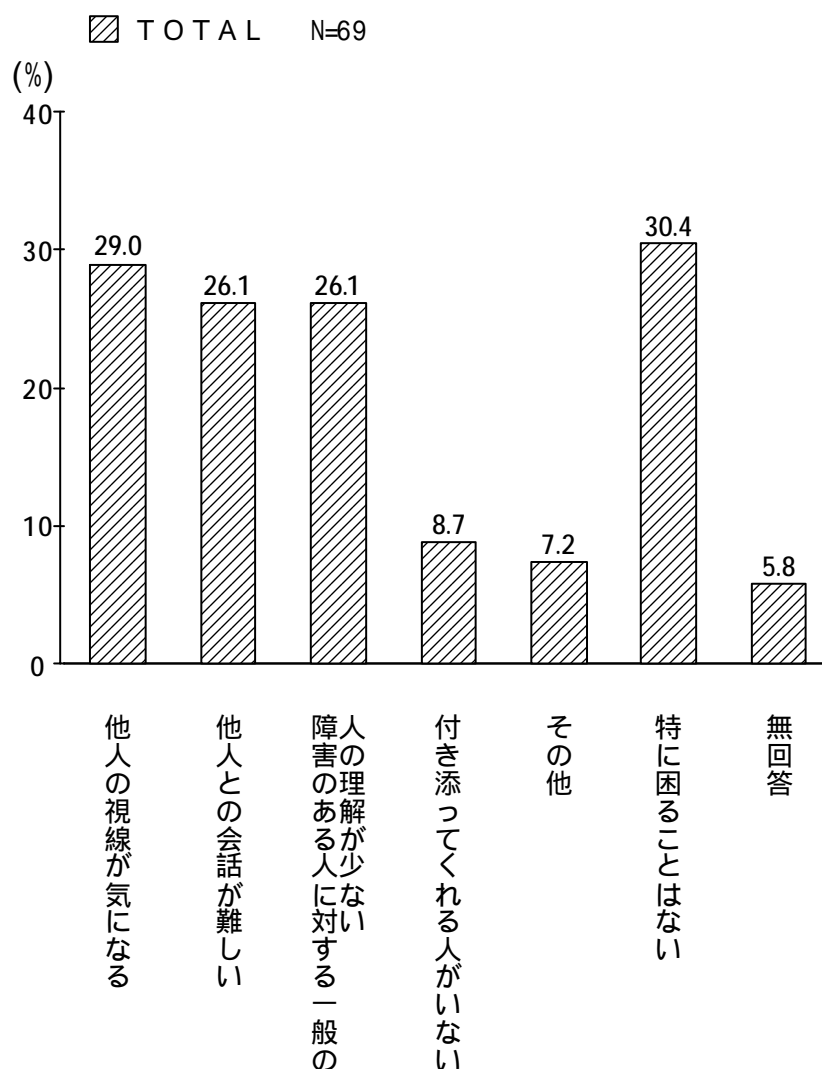
(4) 外出や余暇活動について

外出の際に困っていること

外出の際に困ることはどのようなことですか。(はいいくつでも)

外出の際に困ることは、約3割(30.4%)が「特にない」と回答しているが、困ることとしては「他人の視線が気になる」(29.0%)が同程度あげられているほか、「他人との会話が難しい」(26.1%)と「障害のある人に対する一般の人の理解が少ない」(26.1%)も3割近くの人あげている。

外出の際に困っていること



余暇活動の状況（現状と希望）

あなたは、最近、次のような活動をしましたか。（はいいくつでも）

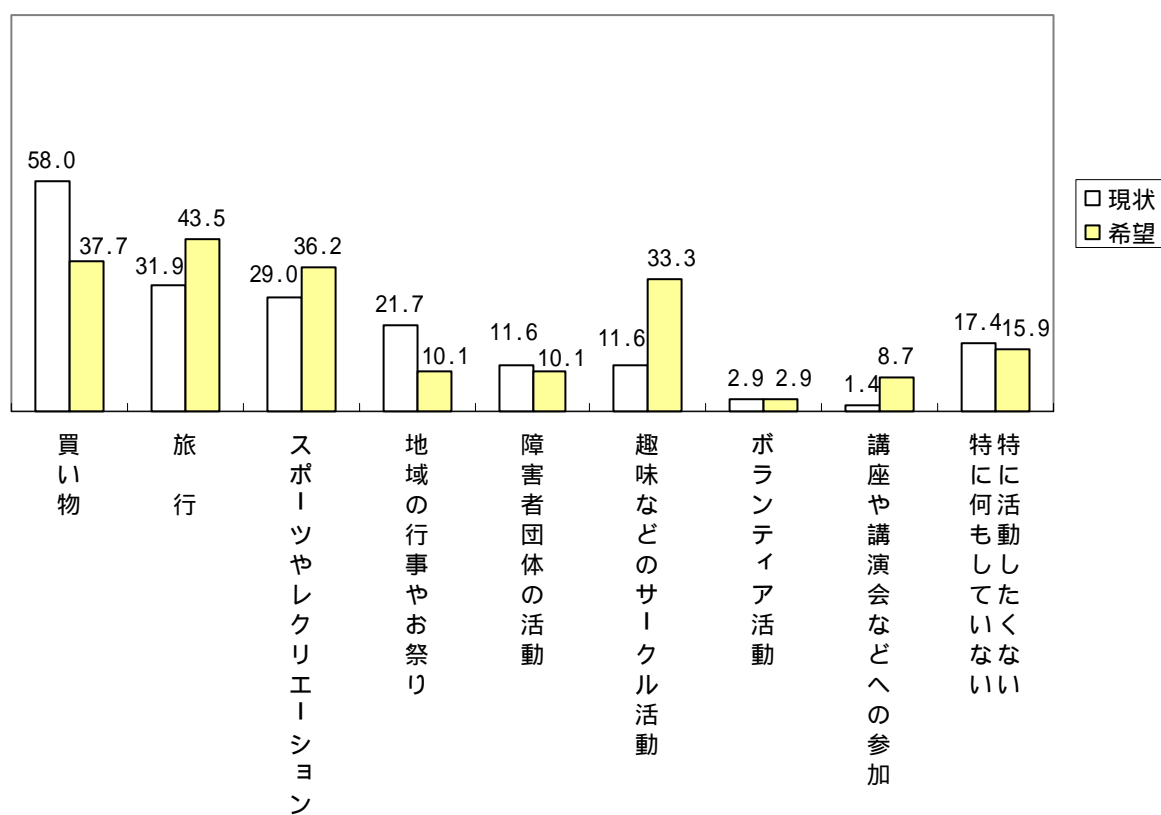
あなたは、これからどのような活動をしたいと思いますか。（はいいくつでも）

対象者が最近、最もよくした活動は「買い物」で、58.0%の人があげている。次いで「旅行」（31.9%）、「スポーツやレクリエーション」（29.0%）と続いている。

今後、したいと思う活動については、「旅行」をあげる人が43.5%と最も多く、次いで「買い物」（37.7%）、「スポーツやレクリエーション」（36.2%）と続いている。「趣味などのサークル活動は、実際に行っている人が8人（11.6%）だが、今後したいと考えている人は23人（33.3%）と多くなっており、現状に比べより高い活動意向を示している。

最近した活動と今後したい活動

N=69

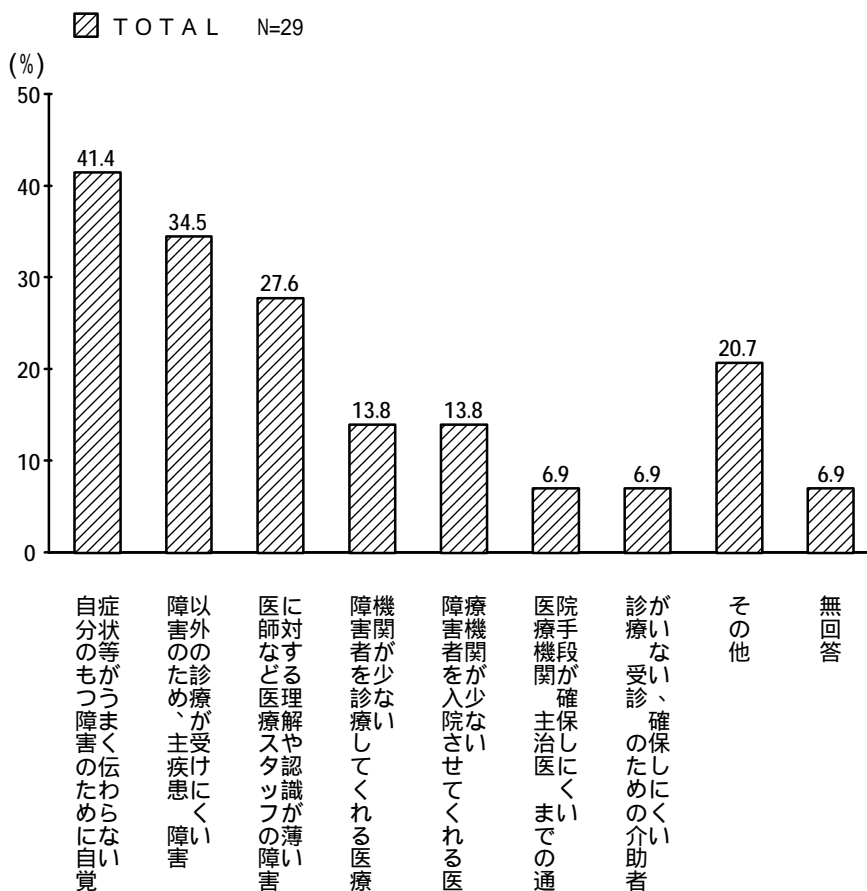
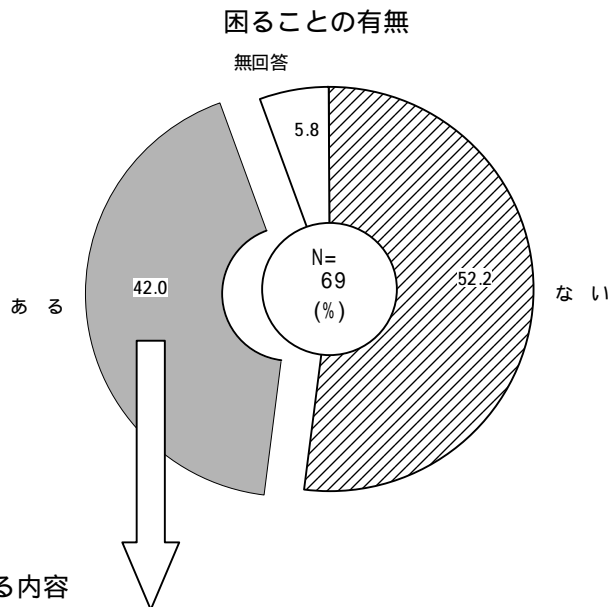


(5) 医療や健康について

医療を受けるにあたって困ること

困ることはどんなことですか。(はいくつでも)

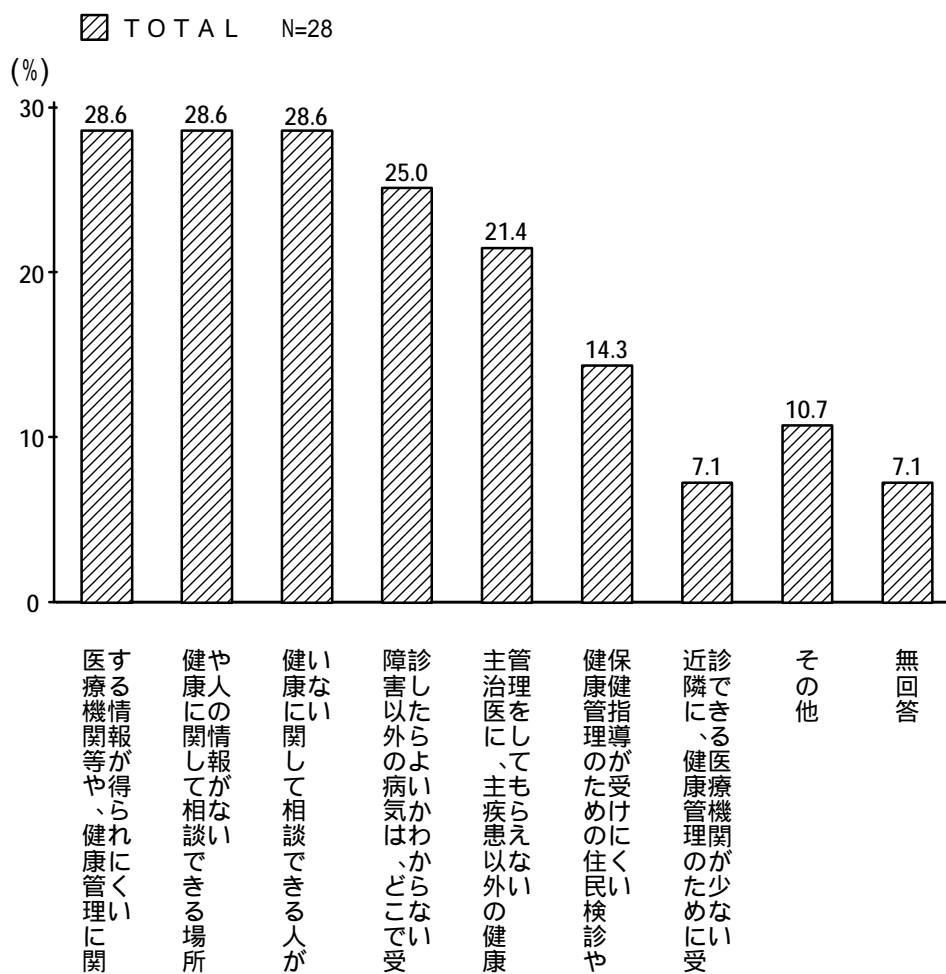
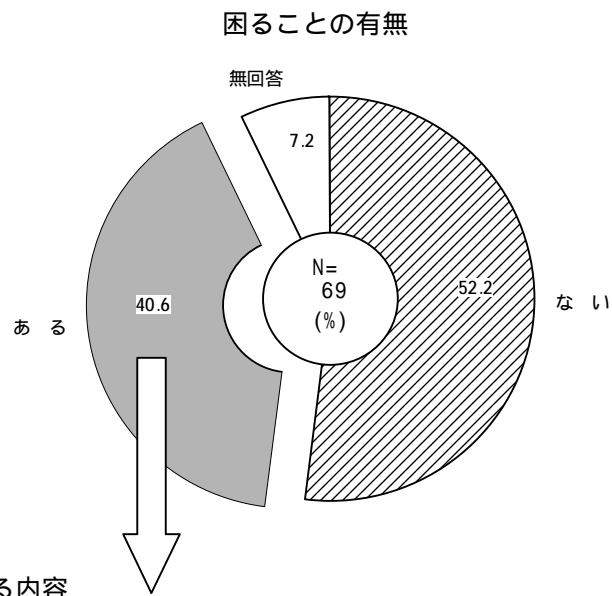
医療を受けるにあたって困ることが「ある」人は42.0%で、内容としては「自分のもつ障害のために自覚症状等がうまく伝わらない」(41.4%)、「障害が理由で、主疾患以外の病気の診療を受けにくい」(34.5%)が比較的多くあげられている。



健康管理について困ること

困ることはどんなことですか。(はいくつでも)

健康管理について困ることが「ある」人は40.6%で、内容としては「医療機関や健康管理に関する情報が得られにくい」、「健康に関して相談できる場所や人の情報がない」、「健康に関して相談できる人がいない」の3項目が、それぞれ28.6%と比較的多くあげられている。



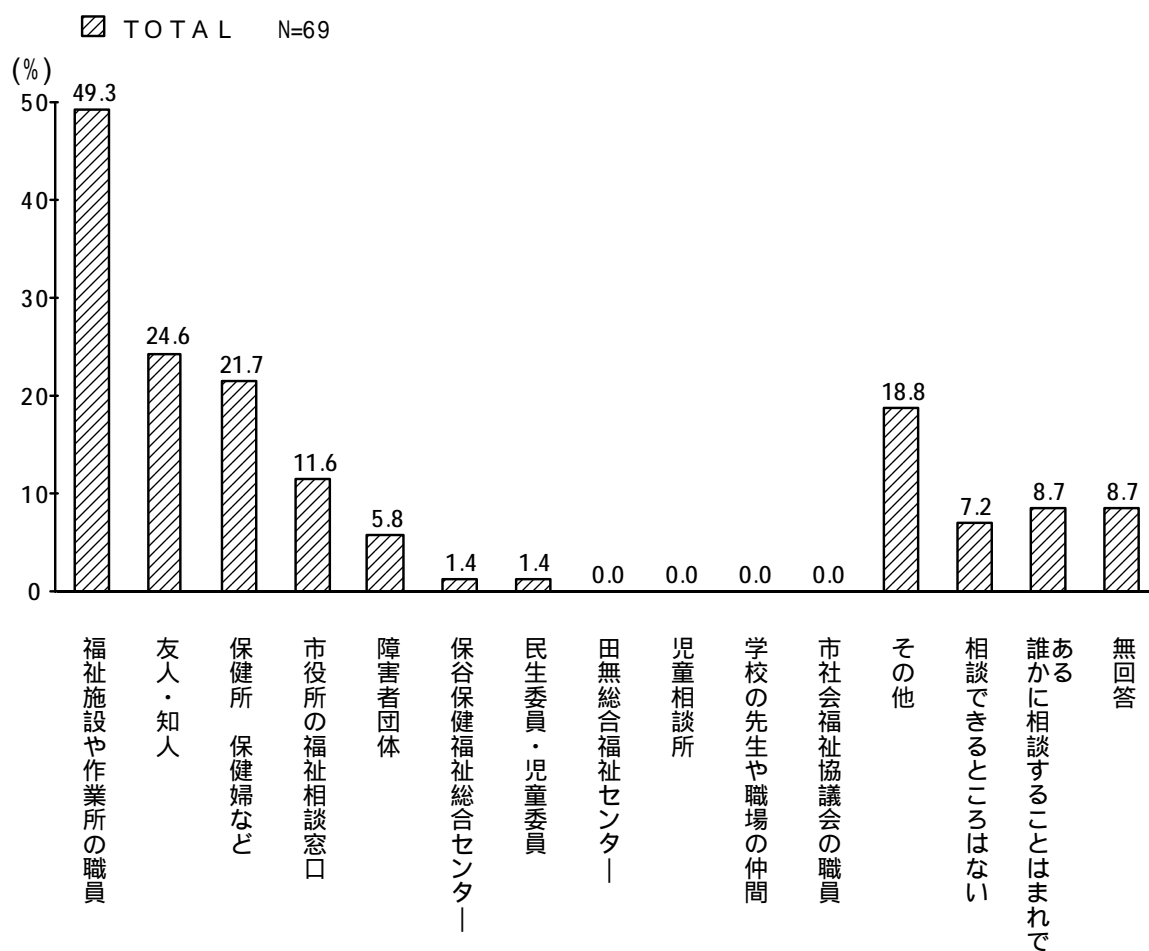
(6) 情報の取得や相談について

悩み事や心配事の相談先

あなたは、悩み事や心配事があるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。あてはまるものすべてにをつけてください。(はいくつでも)

悩み事や心配事の相談先(家族や親せき以外)は、「福祉施設や作業所の職員」が49.3%と約半数を占めている。

悩み事や心配事の相談先(家族・親せき以外)



希望する相談相手、相談方法

あなたは、具体的にどのようなところに、どのような方法で相談できれば、より相談しやすくなると思いますか。(自由回答)

希望する相談相手(場所)としては、「主治医、医者」と「作業所のスタッフ」がそれぞれ4件ずつあげられている。

また、希望する相談方法としては、「直接、会って話をする」が5件、「電話で話をする」が3件あげられている。

希望する相談相手(場所)

相談相手(場所)	件数
主治医、医者	4
作業所のスタッフ	4
保健所	2
デイケアのスタッフ	1
病気に理解のある人、またその家	1
相談相手の家	1
面接や電話のできる場所	1
ハローワーク	1
自宅	1
室内	1
すてっぷ	1

(1つの記入に複数の内容が含まれている場合はそれぞれの内容にカウント)

希望する相談方法

相談場所(相手)	件数
直接、会って話をする	5
電話で話をする	3

(1つの記入に複数の内容が含まれている場合はそれぞれの内容にカウント)

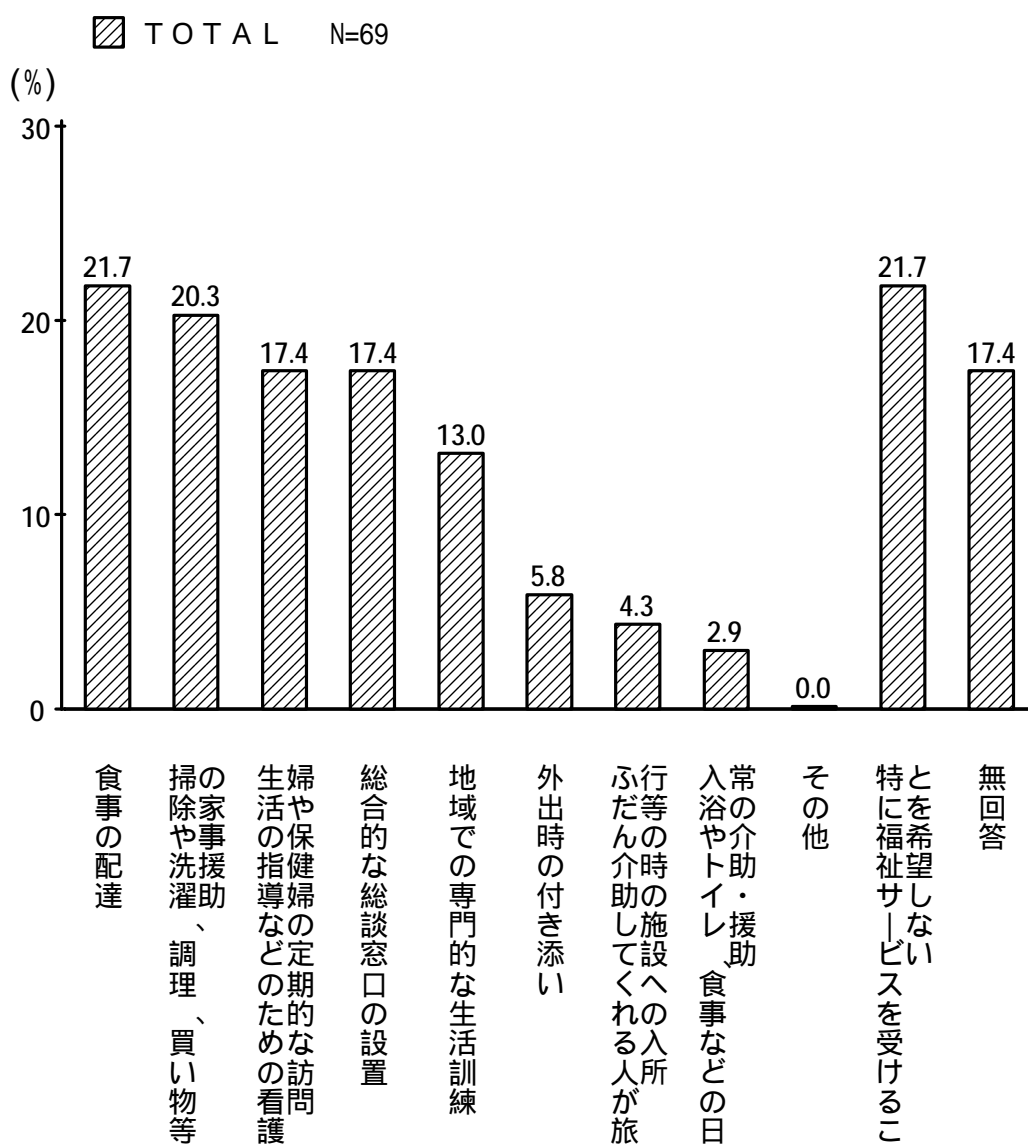
(7) 福祉サービスについて

在宅で利用を希望する福祉サービス等

在宅でどのような福祉サービスなどを受けることを希望しますか。あてはまるものすべてに をつけてください。(はいくつでも)

在宅で受けることを希望するサービスとしては、「食事の配達」をあげる人が 21.7%と最も多く、次いで「掃除や洗濯、調理、買い物等の家事援助」(20.3%)、「生活の指導などのための看護婦や保健婦の定期的な訪問」(17.4%)、「総合的な相談窓口の設置」(17.4%)と続いている。ただし、「特に福祉サービスを受けることを希望しない」との回答も 21.7%みられる。

在宅で利用を希望する福祉サービス等



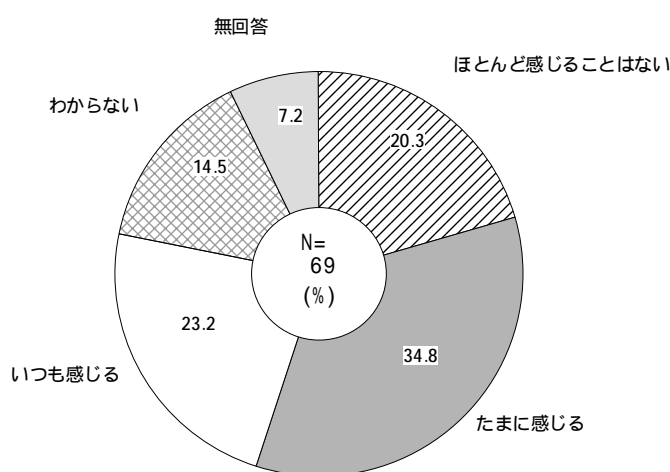
(8) 障害者理解について

差別や人権侵害を感じた経験の有無

障害があることで、差別や人権侵害を受けていると感じることがありますか。
(は1つ)

障害があることで差別や人権侵害を受けたことがあるかを尋ねたところ、「たまに感じる」が34.8%、「いつも感じる」が23.2%となっており、あわせると約6割の人は障害を理由とした何らかの差別や人権侵害を感じていることがうかがえる。

差別や人権侵害を受けた経験



差別や人権侵害の具体的な内容

具体的には、どのようなときに、差別や人権侵害を受けていると感じますか。
(自由記入)

差別や人権侵害を受けていると感じる場面としては、具体的に次のような内容があげられている。

[具体的な記入内容]

- ・ 最初は話をしても障害者とわかると無視される。(32 歳)
- ・ 仕事探しするとき、電話で病気のことを伝えたら面接を断られた。(31 歳)
- ・ 姉の縁談に響かないように、自分の病気を隠さなければならなかったとき。(36 歳)
- ・ 幼児扱いされているとき。(25 歳)
- ・ 実家の弟夫婦に病気を理解してもらえない。(39 歳)
- ・ 障害者の仲間と公衆の場にいるとき。(20 歳)
- ・ 精神障害のことを話すと嫌な顔をする人がいる。(45 歳)
- ・ 病院から外出するとき。(34 歳)

(9) 将来のことや暮らし全般について

将来の暮らしで不安に感じていること

将来の暮らしで不安に感じていることがあれば自由にお書きください。

将来の暮らしで不安に感じていることとしては、「経済的なこと」や「親がいなくなったあとのこと」が比較的多くあげられている。

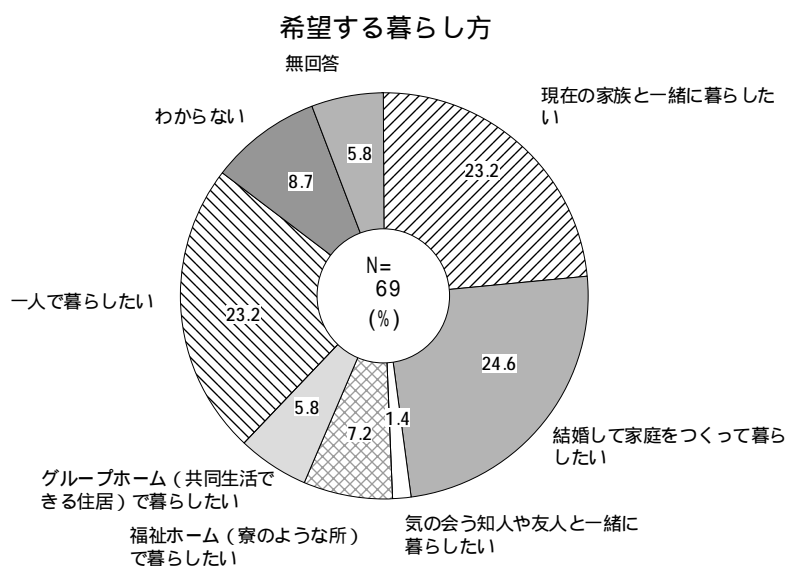
[具体的な記入内容]

- ・グループホームや一人暮らしでどのくらいきちんと生活をしていけるか。(33歳)
- ・たとえ結婚できたとしても子どもはつくれないのではないかと。なぜなら精神安定剤を服用して長いから。(34歳)
- ・資産、財産の管理が煩雑なので不安がある。(34歳)
- ・もし母がいなくなったら、食事や洗濯など身の回りのことができなくなる。(47歳)
- ・一人暮らしをしたいが食事や買い物など、生活のリズムが一人ではとれない。(46歳)
- ・今後も薬を飲み続けていくか不安。(49歳)
- ・生活費が足りない場合はどうしたらよいか。(30歳)
- ・定職につけるかどうか。(23歳)

将来、望む暮らし方

将来、あなたはどのような暮らしをしたいですか。(は1つ)

将来、希望する暮らしについては、「結婚して家庭をつくって暮らしたい」(24.6%)、「現在の家族と一緒に暮らしたい」(23.2%)、「一人で暮らしたい」(23.2%)がほぼ同数となっている。

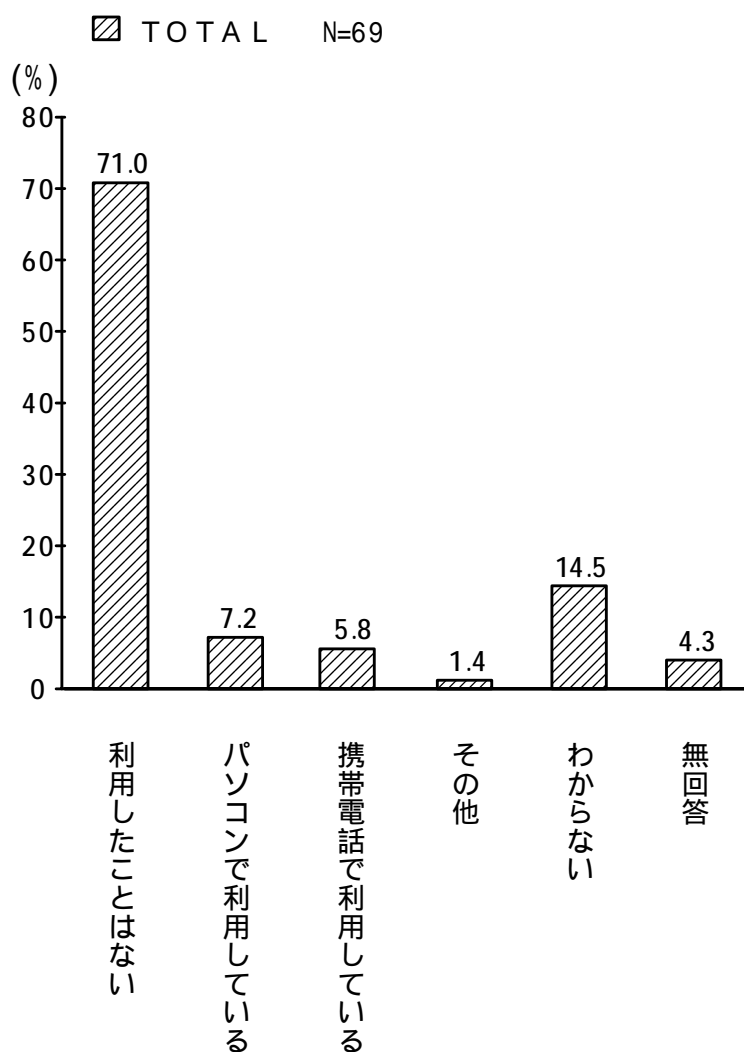


インターネットの利用状況

あなたは、家庭や職場などでインターネットを利用することがありますか。(はいいくつでも)

インターネットを「パソコンで利用している」人は 7.2%、「携帯電話で利用している」人は 5.8%にとどまっている。

インターネットの利用状況

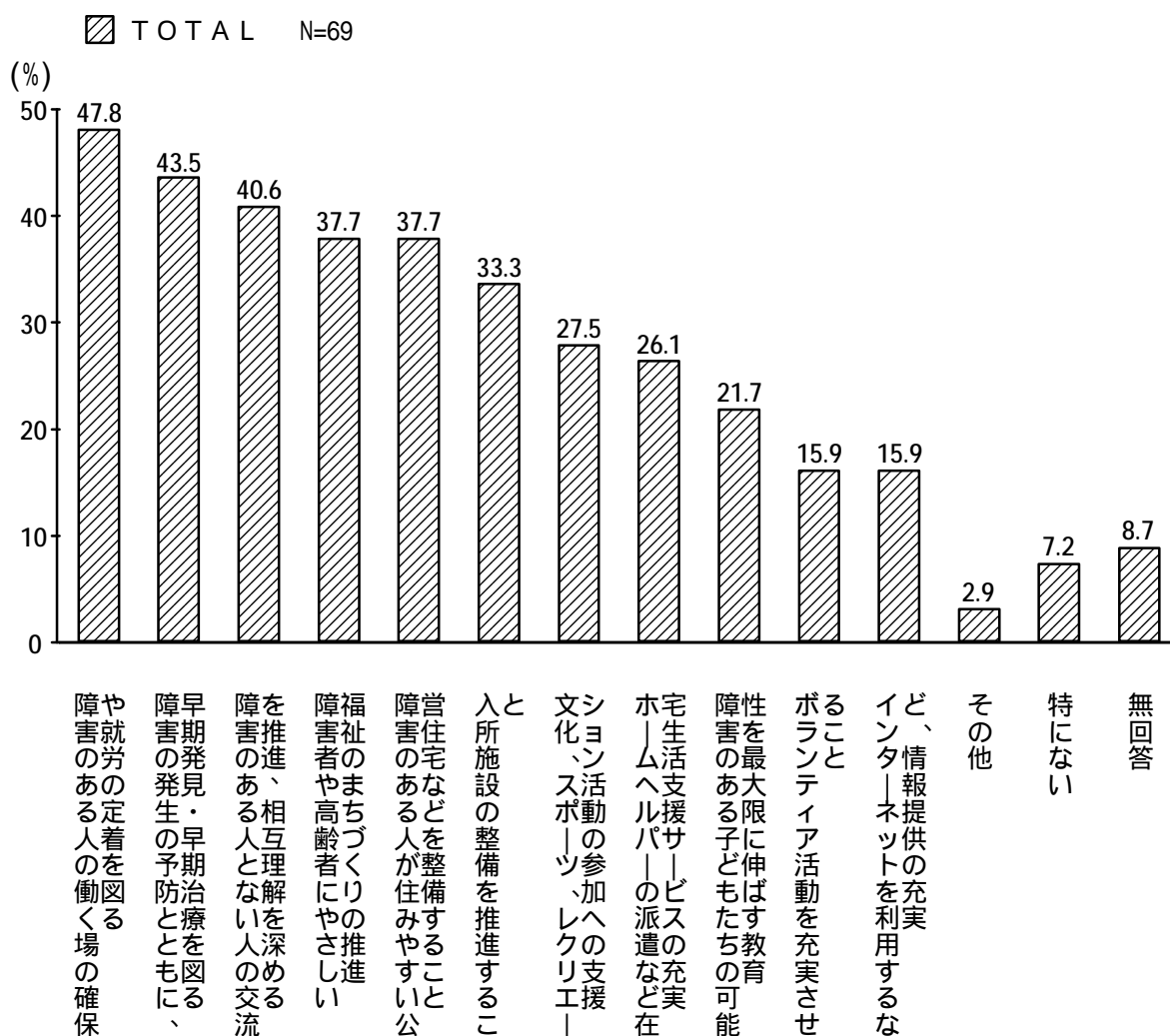


望まれる障害者施策

今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。あてはまるものすべてにをつけてください。
(はいくつでも)

今後、望まれる障害者施策としては、「障害のある人の働く場の確保や就労の定着を図る」をあげる人が 47.8%と最も多く、次いで「障害の発生の予防とともに早期発見・早期治療を図る」(43.5%)、「障害のある人とない人の交流を推進し、相互理解を深める」(40.6%)と続いている。

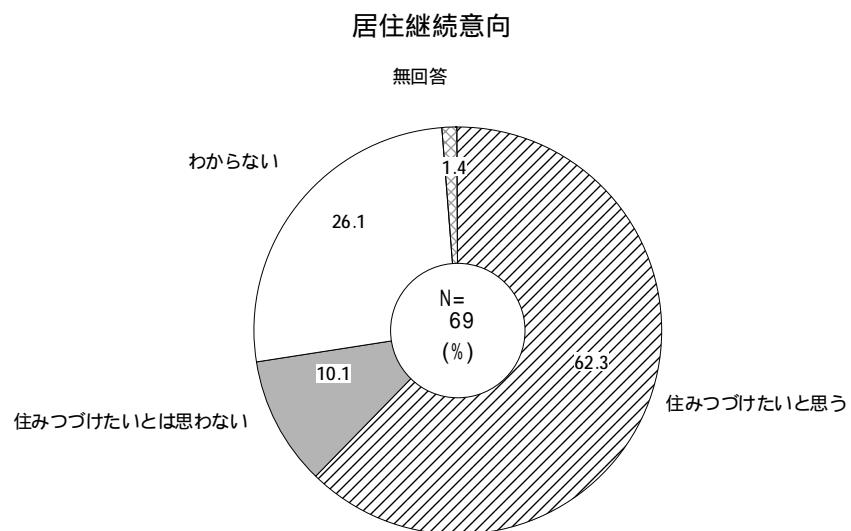
望まれる障害者施策



西東京市への居住継続意向

今後も西東京市に住みつづけたいと思いますか。(は1つ)

今後も西東京市に住み続けたいかを尋ねたところ、62.3%が「住み続けたいと思う」と回答しており、「住み続けたいと思わない」は10.1%となっている。



今後も西東京市に住み続けたいと思う理由は、「親や近親者が近くに住んでいるから」が55.8%と最も多く、次いで「現在の住所が西東京市にあるから」が48.8%で続いている。

